

腎友さがみはら

腎友会ニュース 第142号

相模原市

発行日：平成28年7月10日

責任者：羽田 弥

相模原市南区南台 2-8-1-301 TEL042(748)3773



「翡翠の低空飛翔」境川にて（みごとカワセミのホバリング）

相模循環器クリニック 宅田正一さん（賛助会員）

目次

・第34回定期総会報告	2	・写真集	8
・NPO法人神奈川腎友会第16回(通算第40回)定期総会	4	・青い鳥ハガキ寄付者名簿	10
・NPO法人神奈川県腎友会創立40周年記念式典	4	・新入会員名簿	11
・連載 透析黎明期の戦いと今日	5	・ホームページ「さーくる」開設	12
・活動日誌	7	・編集後記	12

第34回定期総会報告

去る5月29日（日）に第34回定期総会が開催されました。当日は出席者47名の他に委任状が191通あり、総会員数444名の過半数に達しており、総会は成立要件を満たしておりました。また、当日は賛助会員である衆議院議員の本村賢太郎様、神奈川県議会議員の寺崎雄介様、長友よしひろ様並びに佐々木正行様及び市議会議員の米山定克様が来賓としてご出席いただきました。

稲田事務局長の司会で、最初に平成27年度に亡くなられた方々のご冥福を祈り黙とうを捧げた後、羽田より、挨拶の中で熊本地震での被災者へのお見舞いを申し上げ、発災直後はライフラインの水の供給がストップした関係で22の透析施設で透析ができなかったなどの透析医療の状況を報告しました。続いて、来賓の長友・佐々木両県議会議員、米山市議会議員からご挨拶をいただきました（本村衆議院議員、寺崎県議会議員は議事が始まってからの来臨につきご紹介のみとした）。その後、議長に橋本みなみ内科本院の加賀谷文博さん、書記に相模原クリニック石亀大介さんが選任され議事に入りました。

第1号議案活動報告、第2号議案決算報告、第3号議案会計監査報告は関連があるので一括説明・一括審議とし、平成27年度活動報告を、羽田が、平成27年度一般会計収支報告を小久保会計が、平成27年度の年度末預金残高、第33回定期総会の決算報告、講演等の決算報告、旅行の決算報告などの個別会計報告が羽田より説明し、平成27年度会計監査結果を会計監査の北村忠夫さんが適正に処理されている旨の報告がありました。一括審議に入り、質問はなく各議案、挙手による採決の結果、賛成多数で承認されました。

続いて、第4号議案平成28年度の役員選出（案）に入り、原案を平野副会長が読み上げ、諮ったところ満場一致で承認されました。次に、第5号議案活動方針及び活動計画（案）。第6号議案会計予算（案）について一括説明、一括審議に入り、活動方針・活動計画は羽田が説明し、その中で今年度も会員拡大が最重要課題であると申し上げ、平成25年に実施した「腎友会入会に関するアンケート」の結果の「腎友会への入会は会員から勧められたからが67%」で最も多い、また「入会して非常に良かったと良かった両方で74%」を占めることなどを配布資料で説明し、会員の皆さんの会員勧誘へのご協力をお願いしました。続いて平成28年度会計予算を小久保会計から説明し、その後、審議に入りましたが質問はなく両議案共に挙手による採決の結果、賛成多数で承認されました。

議事後、永年透析者表彰を行い、その後、地域のマリンバ演奏同好会のみなさんによるマリンバ演奏を楽しみました。マリンバ演奏では、美空ひばり歌謡メドレーなど皆さんお馴染みの曲もあり、また、今年は、小学生達がメンバーに入り一生懸命演奏しており、すべてに亘って大変好評でした。来年も是非呼んで欲しいとの声が聞かれました。

最後には、お弁当を食べて頂いて、解散しました。

恒例の永年透析表彰者は以下の通りです。

【40周年表彰者】昭和50年4月1日～昭和51年3月31日までの透析導入者

岩野たか子様 橋本クリニック

【30周年表彰者】昭和60年4月1日～昭和61年3月31日までの透析導入者

久保一郎様 橋本クリニック

松本輝雄様 第二相模原クリニック

【20周年表彰者】平成7年4月1日～平成8年3月31日までの透析導入者

土屋秀紀様 相原病院

横山房男様 相模原クリニック

青木久男様 相模原クリニック

眞島愛子様 第二相模原クリニック

古川郁夫様 相模原クリニック

岩淵信子様 相模原クリニック

釜形道子様 相模原クリニック

野呂田忠義様 相模原クリニック

和田厚志様 阪クリニック

羽田 彌 森下記念病院

この定期総会で承認されました平成28年度役員は次の通りです。

本年度もどうぞ宜しくご支援・ご協力をお願い致します。

役職	氏名	透析年数	施設名
・会長	羽田 彌	20年	森下記念病院
・副会長	館盛 光弘	8年	橋本クリニック
・副会長	平野 雄市	6年	泌尿野辺総合病院
・事務局長	稲田 稔	29年	相模原クリニック
・会計	小久保きよ子	29年	相武台ニーレンクリニック
・役員	加賀谷文博	15年	橋本みなみ内科本院
・役員	宅田 光子	22年	さがみ循環器クリニック
・役員	関口 武男	8年	相模原クリニック
・役員	江口 房子	12年	橋本クリニック
・役員	柴崎 罔秋	8年	第二相模原クリニック
・役員	工藤 美代子	6年	第二相模原クリニック
・役員	北村 政春	18年	相模台病院
・役員	小池 廣隆	32年	さがみ循環器クリニック
・役員	大谷 京子	16年	阪クリニック
・役員	田中 和代	29年	相原病院
・役員	中丸 よね子	10年	泌尿野辺総合病院
・役員	石田 謙治	7年	森下記念病院
・役員	石亀 大介	14年	相模原クリニック

・役員	岩崎 幸子	20年	泌尿野総合病院
・連絡委員	藤本 廣子	23年	森下記念病院
・連絡委員	加藤 泰久	15年	橋本みなみ内科本院
・連絡委員	笹野 幸子	34年	橋本みなみ内科本院
・連絡委員	荒井 健一	36年	腎健クリニック
・連絡委員	川神 光雄	4年	地域医療機構相模野病院
・会計監査	北村 忠夫	11年	第二相模原クリニック

(羽田記)

NPO 法人神奈川腎友会第 16 回 (通算第 40 回) 定期総会

平成28年5月22日(日)10時30分より横浜市健康福祉総合センターにて定期総会が開催されました。前田会長の挨拶から始まり、全ての議案が1号より5号まで賛成多数で承認されました。第6号議案の大会スローガンが宅田光子さんから読み上げられました。

※組織の充実をはかり、更なる会員の拡大を目指そう！

※災害時に透析者が生き残れる策を実現しよう！

※安心できる透析医療を確保し、命と生活の安定を確保していこう！

※CKD(慢性腎臓病)予防の確立と糖尿病対策を講じ透析導入患者を減らそう！

※透析患者が安心して通院送迎が受けられるような制度・助成の確立を目指そう！

※臓器移植推進に注力しよう！

※障害者相互の理解と連携を深め、地域活動を強化しよう！

NPO 法人神奈川県腎友会創立 40 周年記念式典

平成28年5月22日(日)13時から16時

午前中に引き続き、同所で総合司会森朋美理事によって開会の辞に始まり進行された。

前田会長の挨拶、ご来賓河野太郎大臣のご挨拶。続いて、自民党神奈川県議会議員団団長の桐生秀昭様のご挨拶があり、神奈川県副知事他3名のご臨席を頂きました。

その後、永年透析者の表彰は40年以上19名、30年以上107名、25年以上131名。また、ブロック役員功労顕彰。特別役員功労顕彰。作品展ボランティア功労顕彰が有り、記念講演となりました。

「ips細胞を用いた腎臓病と糖尿病に対する再生医療の開発に向けて」と題して

京都大学 ips 細胞研究所 (CIRA) 増殖文化機構研究部門の長船健二教授より講演が有りました。近い将来には人工腎臓が出来ることも夢ではないようであると思われた。

久保副会長の閉会の辞で16時に終了した。

(平野雄市)

第1章・「ニーレ友の会」誕生

◆45年ほど前の話ですから、もう半世紀も昔のことです。日大板橋病院の建て替えが完成を間近にしていたころ、第二内科（通称大島内科）の患者間で大きな問題が起きていました。100床ある第二内科のベッドが新しい病棟では60床になる。強制的退院があるのではないか……。今まで無料だった4人部屋は差額ベッドの部屋になり、1日2000円になる……。入院期間が1年以上の人が多く、普段から仲の良い患者たちは、会を結成して交渉しようとなりました。会の名前は「ニーレ友の会」。結局、他の科のベッドを借りて全員差額料金なしの移転が可能になりましたが、みんなの頭の中にモヤモヤがもう一つありました。当時腎臓病で有名な大島教授のもとには全国から腎臓病患者が集まっていた。しかも**年齢は10代から40代がほとんど**。◆高校生のK君もその一人です。長崎県五島列島で高校教師の母親と二人暮らし。入院中は都内に住む祖母が彼の面倒をみています。母の面会は夏休みなど長期の休暇の時だけです。その彼が透析しなければならない状態になりました。そのためには多額のお金が必要です。当時社会保険本人は自己負担0でしたが、その家族は5割、国民健康保険は本人・家族共に3割負担でした。◆家族が医師に呼ばれ、話し合いが行われましたが、結局退院して断食道場に入りました。3週間後、元の病室を訪ねてきました。一見よくなったように見えました。しかし、その1週間後に亡くなりました。「貧乏人は死ねということか……」みんなが悩みました。

第2章・そして全国展開

◆個人では解決できない色々な問題がある。そのために「ニーレ友の会」は、**全国組織に大きく舵を切りました**。毎日新聞の健康担当の方をお願いして、会の存在を健康欄にコラムとして掲載してもらいました。それを見て各地から反響が有り、その人たちを会員にして施設患者会から全国患者会に形を変えました。言ってみれば「ミニ全腎協」に発展しました。後にこの全国に散らばっている会員が地域腎友会設立の核になりました。◆また全国に15団体ほどの腎臓病患者会が存在していることも知りました。新潟の「信楽園病院」、愛知の「中京病院」等です。都心で連絡の取れた「代々木病院」「小豆沢病院」川崎の「虎の門病院分院」横須賀の「横須賀共済病院」と「ニーレ友の会」の五つの患者会代表が神田神保町の喫茶店に集合しました。昭和46年3月10日のことです。透析患者の出席は「虎の門」と「横須賀共済」の2団体で、他は慢性患者でした。◆透析治療の何も知らなかった私には透析患者の存在は特異でした。顔はどす黒く、2階に上がる階段でハーハー。喫茶店でも水は一切口にせず、注文は「アイスクリーム」。腕に外シャントがあり包帯で隠しています。この人達は一緒に行動できるのだろうか？足手まといになるのではないかと？

◆日大病院の看護婦さんの「全国組織の活動など止めなさい。結核患者の時と同じようにあなた方に犠牲者が出ますよ」との忠告が頭をよぎりました。でも、すでに動き出してしまったようです。とりあえず、「今後一緒に活動する事を確認しました」。その席には毎日新聞社会部の記者が同席しており、翌日の社会面に、「腎臓病患者が一つにまとまろうとしている」と小さな記事ですが報じてくれました。◆これが拍車をかけ

各地に病院単位や地域単位の患者会が誕生しました。医師の助言で患者会を立ち上げた所もありました。私達も都内の病院に出掛け患者に接触して理解を求め、患者会の設立を促しました。労働組合でいうオルグです。◆もうやめることは出来ません。準備会合を4回ほど行いましたが第2回の会合では、50代の方が出席され「私たち病院の透析機械は満杯です。新たに多くの人が透析治療を求めて病院に詰めかけたら、私たちがはじき飛ばされてしまう。あのベッドは私のベッドだ。このような運動は即刻やめてほしい。」と詰め寄る場面もありました。「個人のためでなく、多くの患者の為に動いていること」を丁寧に説明し、理解して頂きました。後日談ですが、陳情活動の際、彼からあちこちの紹介状を頂き活動がスムーズにいったと聞いたことがあります。同行を願ったところ、「私は行かない方がいいでしょう」と言われたとの事。官庁の相当偉い方だったようです。

第3章・「全腎協」の誕生

◆設立総会は同じ年の6月6日。たった3か月の突貫作業でした。今はもう取り壊されていますが、大手町の都立産業会館には土砂降りの雨にも関わらず250名を超える患者・家族が集まりました。各地の代表が挨拶するたびに、会場からすすり泣きが聞こえました。◆翌日の新聞各紙は社会面に大きく掲載してくれました。「全国腎臓病患者連絡協議会(略称全腎協)の誕生です。キャッチフレーズは『金の切れ目が命の切れ目』。笠原事務局長の考えた大傑作です。◆それと全く偶然に同時期に起こった事例です。読売新聞大阪本社の夕刊に「じん臓病と闘う」の連載が開始されました。(資料によると週1回で10回連載の予定が反響が大きく29回まで延長され最終回が12月の大蔵省予算編成のころとなった)◆関東では産経新聞が同じようなキャンペーンを張ってくれました。共に腎臓病は不治の病で、毎年1万人近くが亡くなっている。透析治療をすれば助かる人が相当数いる。しかしそれには多額のお金がかかり、しかも肝心の人工腎臓の絶対数が不足しているとの趣旨です。◆会長には当時日大理工学部の助教授であった大西晴幸さん、「ニーレ友の会」の会員で透析導入直前の方でした。副会長は2名で「虎の門」の上田昭さん「京都さつき会」の勝山英輔さんをお願いしました。◆役員も全国的になりました。遠方からの出席を考慮して1泊2日の役員会も開かれました。労働組合所有の施設を借りて、疲れたら横になれるように、和室を用意しました。京都から参加の勝山副会長は非常に熱心な方でした。50代の方でしたが、毎回、新幹線で来られ出席されました。資料によると、第1次オイルショックの際にダイアライザーや当時大量に使用していたブドウ糖がストックを尽きそうになると聞き及んだ彼は、厚生省に乗り込み「患者の命に重大事である。透析が保証されるよう」緊急に要請したとの事です。また症状が相当悪くなり医師より、透析を勧められたが、「私は結構です。空いているベッドは若い方に廻してください」と言い最後まで透析を遠慮されたそうです。◆内田厚生相に面会して要請文を手渡したのは設立翌々日の事でした。厚生省との交渉では「腎不全対策費を来年度の概算要求に組み入れたが、透析患者を身障者にするのは大変だ」と前途多難でした。それでも必死に厚生省、大蔵省、国会議員をまわり現状を訴え続けました。さらに難病団体との合同会議もあり、地方の腎友会の設立総会出席と、時間があっという間に過ぎました。

活 動 日 誌

※1 氏名は参加者を示します。順不同です。

※2 「NPO法人 れんきょう」或いは「連協」は、相模原市腎友会が加盟している「特定非営利活動法人 相模原市障害児者福祉団体連絡協議会」を示します。

03 / 16 (水) NPO 法人れんきょう平成27年度第7回理事会 羽田

03 / 20 (日) 総合相模更生病院透析室内覧会 石田、羽田

03 / 29 (火) 相模原市社会福祉事業団評議員会 (NPO 法人れんきょう) 羽田

04 / 10 (日) 第203回役員会 館盛、江口、加賀谷、平野、石亀、北村、柴崎、工藤、
関口、宅田、小久保、稲田、羽田

04 / 17 (日) 平成27年度決算会計監査 北村 (忠)、小久保、羽田

04 / 22 (金) NPO 法人れんきょう三役会議 羽田

04 / 24 (日) 三役会議 平野、稲田、小久保、加賀谷、宅田

04 / 26 (木) さがみはら市民健康づくり会議総会 工藤

04 / 29 (金) NPO 法人れんきょう事務員採用面接 羽田

04 / 30 (土) NPO 法人れんきょう事務員採用面接 羽田

05 / 03 (火) NPO 法人れんきょう平成27年度決算会計監査 羽田

05 / 15 (日) 相模原市自閉症児・者親の会平成28年定期総会 (NPO 法人れんきょう) 羽田

05 / 16 (月) 相模原市福祉有償運送運営協議会 (NPO 法人れんきょう) 羽田

05 / 18 (水) NPO 法人れんきょう平成28年度第1回理事会 羽田

05 / 19 (木) さがみはら市民健康づくり会議総会 工藤

05 / 20 (金) 新成人を祝う会連絡会議 (NPO 法人れんきょう) 羽田

05 / 20 (金) 相模原市社会福祉協議会障がい部会 羽田

05 / 22 (日) 神奈川県腎友会定期総会 工藤、稲田、小久保、宅田、平野、加賀谷、館盛、江口

05 / 26 (水) 相模原市社会福祉事業団評議員会 ((NPO 法人れんきょう) 羽田

05 / 29 (日) 第34回定期総会 北村 (忠)、稲田、関口、工藤、石亀、宅田、川神、
館盛、平野、加賀谷、加藤、小久保、大谷、羽田、石田、北村 (政)

05 / 01 (日) 神奈川県腎友会編集委員会 石亀

06 / 05 (日) 第204回役員会 大谷、平野、加賀谷、石田、北村、石亀、関口、工藤、
宅田、二の宮、小久保、稲田、羽田

06 / 12 (日) NPO 法人れんきょう第2回定期総会 館盛、平野、稲田、加賀谷、工藤、羽田

06 / 12 (日) NPO 法人れんきょう平成28年度第2回理事会 羽田

以上

写真集 (1)



当日参加の平成 28 年度 相模原腎友会役員の皆さん

羽田会長挨拶



議長加賀谷氏と書記の石亀氏



ご来賓の皆さま



写真集 (2)

子ども達によるマリンバ演奏



美空ひばり歌謡メドレー



マリンバに耳を傾ける客席



青い鳥ハガキ寄付者名簿

相模原クリニック	後藤清治様	20枚
相模原クリニック	嵩元盛保様	20枚
相模原クリニック	書き損じ	81枚
相模原クリニック	稲田 稔様	20枚
相模原クリニック	関久美子様	15枚
相模原クリニック	安在智嘉子様	20枚
相模原クリニック	金子喜美枝様	20枚
相模原クリニック	阿部行雄様	20枚
相模原クリニック	釜形道子様	20枚
相模原クリニック	松尾雅子様	20枚
相模原クリニック	関口武男様	90枚
相模原クリニック	小島 勝様	20枚
相模原クリニック	井口トシエ様	14枚
相模原クリニック	古川郁夫様	20枚
第二相模原クリニック	柴崎國秋様	20枚
第二相模原クリニック	鈴木カツヨ様	20枚
第二相模原クリニック	北村忠夫様	20枚
第二相模原クリニック	吉田 稔様	20枚
第二相模原クリニック	板部ムツ様	20枚
第二相模原クリニック	松本輝雄様	20枚
第二相模原クリニック	真島愛子様	20枚
第二相模原クリニック	飯島祐七郎様	20枚
第二相模原クリニック	岩澤浩子様	20枚
第二相模原クリニック	石山義勝様	20枚
第二相模原クリニック	鈴木 宇様	20枚
第二相模原クリニック	工藤美代子様	20枚
第二相模原クリニック	千葉幸夫様	20枚
第二相模原クリニック	岡村聡一郎様	20枚
第二相模原クリニック	無記名	20枚
第二相模原クリニック	渡邊秀雄様	20枚
森下記念病院	羽田 弥様	20枚
森下記念病院	深見順三様	20枚
森下記念病院	藤本廣子様	20枚
森下記念病院	石田謙治様	20枚
森下記念病院	中島昨爾様	20枚
淵野辺総合病院	平野雄市様	20枚
淵野辺総合病院	今野茂弘様	20枚
淵野辺総合病院	小澤美恵子様	20枚
淵野辺総合病院	長嶋佳恵子様	26枚
淵野辺総合病院	二関光代様	20枚

皆様多くのご寄付を頂き有難う御座いました。

淵野辺総合病院	小松崎淳様	20枚
淵野辺総合病院	橋本三重子様	20枚
淵野辺総合病院	小林 滋様	10枚
淵野辺総合病院	水谷好佐様	20枚
橋本クリニック	舘盛光弘様	20枚
橋本クリニック	高部 誠様	20枚
橋本クリニック	佐藤敏雄様	20枚
橋本クリニック	岩野たか子様	20枚
橋本クリニック	江口房子様	20枚
橋本クリニック	林真澄美様	20枚
相模野病院	川神光雄様	4枚
	年賀52円	69枚
	年賀50円	21枚
	50円葉書	40枚
橋本みなみ内科本院	橋立節子様	20枚
橋本みなみ内科本院	織田賢治様	20枚
橋本みなみ内科本院	笹野幸子様	20枚
	50円葉書	5枚
橋本みなみ内科本院	山口美津江様	20枚
橋本みなみ内科本院	田所京子様	20枚
橋本みなみ内科本院	宮本和彦様	20枚
橋本みなみ内科本院	伊藤順一様	20枚
橋本みなみ内科本院	小沢 弘様	20枚
橋本みなみ内科本院	伊藤ます子様	40枚
橋本みなみ内科本院	加賀谷文博様	20枚
	82円切手	12枚
橋本みなみ内科本院	笠井一枝様	20枚
橋本みなみ内科本院	飯島久江様	20枚
橋本みなみ内科本院	大麻恵子様	20枚
橋本みなみ内科本院	長久保ユキミ様	20枚
橋本みなみ内科本院	山下幸乃様	20枚
橋本みなみ内科本院	小森千恵子様	20枚
橋本みなみ内科本院	有働富子様	20枚
橋本みなみ内科本院	菊地原静様	20枚
橋本みなみ内科本院	斉藤雅子様	20枚
橋本みなみ内科本院	塚本泰守様	20枚
橋本みなみ内科本院	市河孝子様	20枚
橋本みなみ内科本院	氏家七郎様	20枚
橋本みなみ内科本院	樋口八重子様	20枚
橋本みなみ内科本院	舘盛正博様	20枚

青い鳥ハガキ寄付者名簿続き

橋本みなみ内科本院	無記名	20枚	さがみ循環器クリニック	前田マサエ様	20枚
橋本みなみ内科本院	無記名	20枚	さがみ循環器クリニック	矢野雅子様	20枚
橋本みなみ内科本院	寺田一美様	20枚	さがみ循環器クリニック	堤吉子様	15枚
橋本みなみ内科本院	長谷川敏雄様	20枚	さがみ循環器クリニック	加藤恵子様	40枚
橋本みなみ内科本院	榎本賢寛様	20枚	さがみ循環器クリニック今	井康雄様	20枚
橋本みなみ内科本院	田所ヨシ様	20枚	さがみ循環器クリニック	前谷泉様	20枚
橋本みなみ内科本院	多田淑子様	50枚	さがみ循環器クリニック	河合敦子様	20枚
橋本みなみ内科本院	河西しづ子様	30枚	さがみ循環器クリニック	稲葉勇様	20枚
橋本みなみ内科本院	加藤泰久様	10枚	さがみ循環器クリニック	斉藤政好様	20枚
橋本みなみ内科本院	横島慶子様	20枚	さがみ循環器クリニック	和田貴美子様	20枚
	旧50円	7枚	さがみ循環器クリニック	新井昌子様	20枚
	50円切手	12枚	さがみ循環器クリニック	楠井忠子様	20枚
さがみ循環器クリニック	永井哲子様	20枚	さがみ循環器クリニック	阿南美佐子様	20枚
さがみ循環器クリニック	宅田光子様	20枚	さがみ循環器クリニック	藤田則子様	20枚
さがみ循環器クリニック	桑名美智枝様	20枚	さがみ循環器クリニック	藤本英雄様	20枚
さがみ循環器クリニック	石丸寛様	20枚	ニーレンクリニック	八巻宗一様	10枚
さがみ循環器クリニック	高平八重子様	20枚	ニーレンクリニック	小久保きよ子様	20枚
さがみ循環器クリニック	高橋千枝子様	20枚	ニーレンクリニック	無記名	20枚
さがみ循環器クリニック	小倉妙様	20枚	阪クリニック	大谷京子様	20枚
さがみ循環器クリニック	山崎たかゑ様	20枚	相原病否	土屋秀紀様	20枚
さがみ循環器クリニック	田村實様	20枚	相原病院	田中和代様	20枚
さがみ循環器クリニック	本木ソフィア様	20枚	相原病院	木下ミツエ様	38枚
さがみ循環器クリニック	古田瑞栄様	20枚	相原病院	50円葉書	20枚
さがみ循環器クリニック	加藤千代様	20枚			
さがみ循環器クリニック	野中和子様	20枚			
さがみ循環器クリニック	長尾不二夫様	20枚			

新入会員名簿

よろしくお願ひ致します。

相模原クリニック	荒川昇様	淵野辺総合病院	橋本三重子様
相模原クリニック	鈴木盛雄様	淵野辺総合病院	奥村政子様
相模原クリニック	鈴木文枝様	橋本クリニック	辰巳龍司様
第二相模原クリニック	松山和年様	橋本クリニック	花見建伍様
第二相模原クリニック	中川猛様	橋本クリニック	重原賢司様
森下記念病院	森野妙子様	橋本クリニック	白井清一郎様
森下記念病院	磯野みとも様	相模大野内科腎クリニック	矢島悦子様
相模大野内科腎クリニック	二ノ宮美和子様	相模大野内科腎クリニック	渡部佳子様
相模大野内科腎クリニック	横川恵美子様		
さがみ循環器クリニック	前谷志郎様	【賛助会員】	
さがみ循環器クリニック	巻口悦子様	橋本みなみ内科本院	堀田あゆみ様
相模大野内科腎クリニック	峯義男様		
相模大野内科腎クリニック	大森蝶子様		

ホームページ「さーくる」開設

相模原市腎友会が加盟している NPO 法人れんきょう（相模原市障害児者福祉団体連絡協議会）は、この度、市から委託を受けてホームページ「さーくる」を開設しました。そして、今後、NPO 法人れんきょうがこのホームページの運営をしてゆきます。このホームページは、一般市民の皆さんには障がいへの理解を深めていただくための情報を発信し、市内の障がい者の皆さんには、障がい者団体の存在、その活動内容の情報を発信し、入会促進につなげます。当然、相模原市腎友会を紹介するページもあり、入会申込書をつけています。このホームページを見て入会してくれる方が現れることを期待します。

URL は <http://sagamiharashi-shougai.com/> です。また、次の検索ワードでも検索できます。

検索

検索

是非、一度ご覧ください。

（羽田記）



編集後記

今号から、3, 4 回にわたって神奈川県平塚市の腎友会「腎友ひらつか」のご協力を得て「連載記事」" 透析黎明期の戦いと今日" を連載させて頂く事になりました。著者の石川勝美さんは 1946 年生まれで、ネフラーゼ症候群で 1967 年春から 2 年半の入院後、全腎協設立運動に参加され、当時機関紙担当の理事をしておられました。透析導入は 2001 年 10 月で透析歴 15 年です。

現在、望星平塚クリニック（平塚市代官町）で HDF 4 時間半の透析を受けております。

平塚榎の会 前事務局長 現副会長をされている方です。

現在ご存命の方で全腎協設立当時の事を良くご存じの方は私は知りませんでした。この文章が「腎友ひらつか」の特別号に掲載されたものをたまたま読む機会に恵まれました。以前の事をあまりにも知らなかった私には驚きの連続でした。全国単位の活動がこんなに短期間になされたことも驚きでした。

皆様も是非この連載記事をお読みになって当時の方々のご苦勞や考え方に触れられることを心より願っております。

編集委員長 館盛